



3月社長定例記者会見概要

3月29日午後3時から、テレビ武田社長、ラジオ入江社長、BS星野社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

2016年度下期これまでの視聴率は、全日4位、G帯4位、P帯3位の状況、今月も帯番組『ひるおび!』は好調で、『あさチャン!』『ゴゴスマ』などもますますで、全日帯を引っ張っている。1月クールドラマでは、日曜劇場『A LIFE～愛しき人～』が全国的にヒットし、最終回が最高視聴率という素晴らしい結果で終えることができた。リアルタイムだけでなく、タイムシフト、あるいはTVerなどによる見逃し配信でも高い数字を記録し、日曜劇場として記憶に残る作品となった。また、「ワールドベースボールクラシック」は、侍 JAPAN が準決勝で残念ながら敗退してしまっただが、ファンの方に素晴らしい試合をお届けできたと嬉しく思う。

<営業関連>

2016年度の業績見込みについて、ネットタイムについては、レギュラー番組は前年を上回る水準で推移、更に単発セールスにおいても上期は「リオ五輪バレー最終予選」「リオデジャネイロ五輪」、下期はWBC、『LEADERS II』が大きく売上に寄与し、前年を上回る見込み。通期でも前年実績を上回る見通し。ローカルタイムは前年には届かない見込みではあるものの、ネット・ローカルあわせたタイムトータルとしては、前年を上回る見込みである。スポットについては、帯番組を中心に若干視聴率が上がってきたことを背景に、下期は前年比103.8%程度、通期では前年比103%強程度となる見込みだ。2017年度の業績見通しについて、ネットタイムについては、レギュラー番組では、16年度上期売上を上回る見通し。ローカルタイムについても、レギュラーの売上はほぼ前年上期の水準だ。スポットでは、4月はほぼ前年並みか前年を上回る見通しだ。

<事業関連>

3月11日公開の映画「チア☆ダン～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～」は昨日までの18日間で、動員73万5000人、興行成績累計8億5900万円のヒットとなっている。ゴールデンウィークまでのロングラン興行にしたい。TBS赤坂ACTシアターでは、4月6日から25日まで、恒例の「赤坂大歌舞伎」。中村勘九郎さん、七之助さんが新作歌舞伎「夢幻恋双紙」に挑む。東急シアターオーブでは、4月3日から30日まで、アダム・クーパー主演の「LION presents Singin' IN THE RAIN 雨に唄えば」を上演。また4月29日・30日、東京国際フォーラムで実写版「美女と野獣」ライブオーケス

トラを開催。そして、IHI ステージア라운드東京のこけら落とし公演「髑髏城の七人 シーズン花」が明日開幕する。今回の公演では、幅広いお客様に楽しんでいただくことを目指し、スマートグラスでの多言語字幕を提供する。

<ラジオ関連> TBS ラジオ 入江社長

今年度最後となる 2017 年 2 月期・首都圏ラジオの聴取率調査が先週発表され、ラジオ全体として大変厳しい結果に。TBS は 15 年 8 カ月連続首位をキープしたものの、前回 12 月から 0.1 ポイント下がり 0.9%。SIU も前回の 6.1% から 5.6% までダウンし過去最低となった。ラジオ全体の問題だが、ボリュームゾーンである高齢者が調査年齢の上限から外れていき大幅減少する一方、若い新規リスナー獲得ができていない。radiko ユーザーは増え、新規リスナー獲得に貢献しているとのデータはあるが、聴取率調査結果にはあらわれず、我慢の時期だと感じる。radiko の媒体価値向上も今後、カギになる。

4 月改編について。新番組は、TBS アナウンサーを起用した情報系番組を編成。蓮見孝之アナの『蓮見孝之まとめて！土曜日』（毎週土曜朝 6 時～9 時）と熊崎風斗アナの『都市型生活情報ラジオ 興味 R』（毎週月曜 18 時～19 時半）が始まる。

営業の 2 月売上は、前年比タイム 100.9%、スポット 107.2% に。タイムは依然レギュラーベースが厳しい中、単発番組のセールスなどで積み上がり、前年を上回った。一方、スポットは堅調で、前年実績を大幅に上回る結果に。通期での着地は増収減益となる見込み。

<BS 関連> BS-TBS 星野社長

『裸のアスリート II スペシャル』を 4 月 1 日に緊急編成、横浜 DeNA 筒香嘉智選手の少年時代、横浜高校時代、ドミニカ共和国での単身武者修行時代を徹底取材した特番。また、2017 年上期はスポーツ中継に積極的にチャレンジし、地上波で放送しなくなったスポーツコンテンツの視聴ニーズに応える。プロ野球中継 50 試合、ゴルフ中継を 12 大会、男子日本代表バレーボール中継を 6 試合など。2 月の収支は増収増益、通期着地も良い結果が得られそうである。